

バトミントン大会

天王小・2 半田 じゅの

ぼくは、ようち園の年中からバトミントンをやっています。お姉ちゃんや先にやっていたので、ぼくもれんしゅうを見に行っていて、楽しそうだなと思っていました。また、スポーツニュースでも、もも田けんとせん手のすごいプレーを見てびっくりして、ぼくも、もも田せん手のように強くなりたいと思いました。

れんしゅうは週に五日あります。はじめに、ランニングやストレッチをします。つぎに、きそうちをします。そこでは、ラケットのいちやフットワークなどをいしきしてれんしゅうをします。たまに、つかれてスピードがおちてしまったり、あきらめてしまったりすることがあります。でも、さい近は、しゅう中してできるようになりました。みっちりれんしゅうすると、足がつかれてばんばんにはってしまいます。ねる前に家ぞくにマッサージをしてもらい、しつぷをはってねます。手も足もいたくなってしまいうけど、れんしゅうをするたびに力がついて強くなっているのが分かるので、楽しくなつてがんばれます。

八月十一日に大きかのとよ中市で、バトミントンの大会がありました。ぼくは、アンダー10.0という四年生以下のぶにさんかしました。

はじめにぼくがたたかかったあい手は、四年生でした。し合はラリーのれんぞくで、せつせんでした。アウトのジャッジをとれたり、あい手をおいこむようなたまをうったりすることが少しできました。

でも、けっかはまけでした。し合がおわってから、あい手のコーチをさがしてアドバイスをもらいました。だ点をもう少し前にすること、コートのおくにうたれた時に足のはこびをもっとつけることを教えてくれました。

まけても、はいしや同士のたいせんがあつたので、もう一し合しました。アドバイスをもらったことを頭に入れてし合にのぞみました。しつかり声も出せだし、コースをねらうてうてました。自分でもいいうごきができたと思いました。四年生をあい手にしてかつことができてうれしかったです。これからも、アドバイスをもらったことをわすれずにれんしゅうをつづけたいと思いました。そして、強いせん手のプレーを見ていいところをとり入れて、もつと強くなりたいです。いつかぼくも、もも田せん手のようになりたいです。

大きかの大会なので、帰りに大きか名ぶつのだこやきやおこのみやきやくしかつを食べました。とよ川で食べるより、ずっとおいしかったです。ぼくはよく食べたら、し合のつかれもふつとびました。何だか強くなったような気もちになりました。大会にさんかしてよかったです。

おいしかったです。パワーもらったでえ。こんどは、ゆうしようしたるさかい、見ときいや。